

2016年10月25日

2017年秋 開業予定

調布駅周辺での商業施設開発推進中！ ～B館には期待の家電量販店を誘致～

全体のコンセプトは“結ぶ”に

京王電鉄株式会社（本社：東京都多摩市、社長：紅村 康）では、2017年秋の開業に向け京王線調布駅周辺で商業施設A・B・C3館の開発を推進中です。今回、店舗誘致を進め、B館には調布周辺の皆様から要望の高かった家電量販店の出店が決定し、株式会社ビックカメラと「ビックカメラ調布駅店（仮称）」の出店について、合意に至りました。

2012年の「京王線・相模原線（調布駅付近）連続立体交差事業」により調布駅付近を地下化したことで、調布の街が1つにつながった結び付きがさらに強くなるようにとの想いを込め開発コンセプトを「“結ぶ”～駅ビルがコト・モノを結ぶ役割を果たすことで、人々がつながりあうキッカケをつくる～」とし事業を進めています。C館には「映画のまち 調布」にちなみ、シネマコンプレックスの出店が決定しており、その他の店舗も合わせ3館の出店店舗数は約70店舗となる予定です。沿線拠点である調布への来街機会を増やし、さらなる街のにぎわいを創出することで「住んでもらえる、選んでもらえる沿線」を目指します。詳細は下記の通りです。



《全体イメージ》

1. 全体のコンセプト

“結ぶ”

～駅ビルがコト・モノを結ぶ役割を果たすことで、人々がつながりあうキッカケをつくる～

2. 各館のコンセプト

<p>・「街」を結ぶ</p> <p>周囲の景観に馴染む、温かみのある色や素材を基本とし、街との調和を意識したデザインとされています。また、店舗配置等の工夫により、建物内の賑わいを外部に醸し出す計画に加え、調布駅は1日11万人以上の利用があることから、街のランドマーク性と駅から広がる賑わいの起点に相応しいデザインとなるように設計しました。</p> <p>・「人」を結ぶ</p> <p>歩く楽しさを感じる足元デザインとし、全館1階外装のデザインを統一することにより、建物の回遊性を高めるとともに街の回遊性を高めます。</p> <p>・「緑」を結ぶ</p> <p>歩行者空間を緑化し、調布市にて整備予定の駅前広場ならびに線路跡地に計画されている緑道と緑を連続させることによって、街づくり計画全体との融合を図ります。</p>		
<p>A館イメージ</p>  <p>街の玄関口として、ファッション・雑貨・食物販・カフェ・レストランなど多彩な専門店を誘致し、いつでも気軽に立ち寄れる「ちょっとステキ」な暮らしを提案します。</p>	<p>B館イメージ</p>  <p>調布エリアに不足している大型家電量販店として、新たにビックカメラを誘致し、さらなる商圈拡大につなげ、調布の街を訪れるキッカケを提供します。</p> <p>○核テナント ビックカメラ</p>	<p>C館イメージ</p>  <p>「映画のまち 調布」を体現するシネマコンプレックスが出店します。1階には緑道に面したカフェやレストランを導入し、「自分らしく」「ゆったりとした」時間を過ごせる空間を演出します。</p> <p>○核テナント シネマコンプレックス (イオンエンターテイメント)</p>

3. ビックカメラ調布駅店（仮称）について

1. 出店場所 B館 1階～4階
2. 面積 約4,700㎡
3. 店舗概要 赤坂見附店に次いで、約4年ぶりとなる都内への新規出店

4. お客様のお問い合わせ先

京王お客さまセンター TEL. 042-357-6161（9時～19時）

(参考①) 調布駅周辺開発の概要

- ・ 所在地 東京都調布市布田4丁目、小島町2丁目ほか
- ・ 敷地面積・建物規模

		A館	B館	C館
敷地面積		約4,000㎡	約1,700㎡	約6,200㎡
建物規模	建物の階数	地上5階	地上4階	地上5階・地下1階
	延床面積	約16,000㎡	約6,000㎡	約16,000㎡

- ・ 用途 商業施設
- ・ 着工 2016年4月
- ・ 竣工・開業 2017年秋(予定)

(参考②) 調布駅の概要

- ・ 開業日 1913年4月15日 ※2012年8月 地下化切替え工事完了
- ・ 1日平均乗降客数 117,781人(2015年度実績)

※本発表の内容は現時点での計画であり、今後変更の可能性がございます。

以上